

歯科保健指導

DHstyle
増刊号

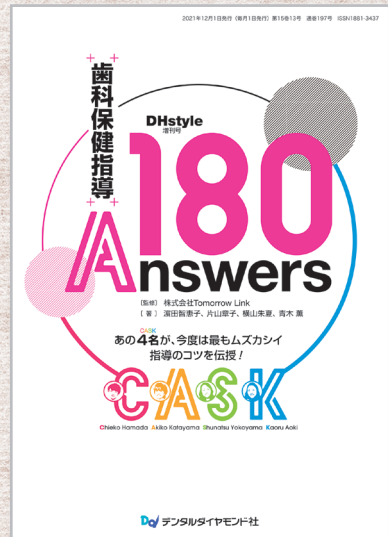
180 Answers

C A S K
Chieko Hamada Aiko Katayama Shunatsu Yokoyama Kaoru Aoki

〔監修〕株式会社Tomorrow Link
〔著〕濱田智恵子、片山章子
横山朱夏、青木 薫

B5判・156頁・オールカラー
本体3,200円+税

詳しい情報はこちら



あの4名が、今度は最もムズカシイ指導のコツを伝授!

歯科衛生士の三大業務の1つである歯科保健指導は、さまざまな知識や経験に基づいた対応が求められます。TBIやOHIはもちろん、生活習慣や口腔機能など、時には患者さんの生活にも踏み込んで指導を行うため、コミュニケーション力も欠かせません。

本書は、歯科衛生士が日々の歯科保健指導で悩みやすい36項目を取り上げ、経験豊富なCASKの4名それぞれの回答に加え、読者自身の答えも加えることで、1冊を通して180の答えが手に入ります。若手歯科衛生士はもちろん、指導の引き出しを増やしたい中堅・ベテランまで、あらゆる方が活用できる1冊です。

CONTENTS

1 TBI/OHI

- 患者さんが長年愛用している歯ブラシが口腔内に合っていない場合、適切な歯ブラシをどのように勧めればよいですか。他

2 生活習慣

- 学校やジムで運動後のスポーツドリンクの摂取を推奨されている場合、どのように対応すればよいですか。他

3 口腔機能

- 口呼吸の患者さんを鼻呼吸へと改善させるために、どのようなアプローチが考えられますか。他

4 コミュニケーション

- 話好きな患者さんの会話をうまく切り上げるには、どうしたらよいですか。
- 指導や説明に対してリアクションが薄い患者さんに、どのようにかわければよいですか。他

5 メインテナンス

- 歯周基本治療が終わると来院が途絶える患者さんがいます。どうすれば防げるでしょうか。
- ブラークコントロールは良好なのに、う蝕や歯肉が腫れている患者さんがいます。どのような原因が考えられますか。他

6 エトセトラ

- 口腔内写真の撮影を嫌がる患者さんに、どのような説明とアプローチをすればよいですか。
- お薬手帳や血液検査の結果の持参に難色を示す患者さんがいます。どのように説明すればよいですか。他

